

平成27年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

充実した教育環境のもとで、のびのびと明るく元気に過ごし生活体験や活動を通して積極的にものごとに取り組む意欲と態度を身につけ、豊かな心を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培う。

- 1 建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」をふまえ、豊かな人格形成の基礎を育む。
- 2 安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身につけるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養う。
- 3 遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人とのふれあいや協力を通して、心身の調和した発達の基礎を培う。
- 4 子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行う。
- 5 保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促す。

2 中期的目標

【1】心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎を培う。

- (1) 健康で活発な子どもを育てる。
- (2) 自ら考え行動する子どもを育てる。
- (3) 思いやりと優しさのある子どもを育てる。

【2】基本的な習慣やマナー、ルールを守る態度を身につける。

- (1) 基本的な生活習慣とマナーを身につける。
- (2) ルールを守るなど集団生活に必要な態度と行動を身につける。

【3】安心・安全な教育環境を整備し、子どもの活発な活動を促す。

- (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身につける。
- (2) 子どもが安心して楽しく生活し、興味・関心を広げることができる環境を整備する。
- (3) 子どもが自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備する。

【4】教育課程を通して積極的に取り組む態度や友達と助け合い協力する態度を身につける。

- (1) 運動することを楽しみ、技能を高め新たなことに挑戦しようとする態度を養う。
- (2) 読む・書く・数えることに関心をもち、考える力・表現する力を身につける。
- (3) 仲間とともに行事・活動に取り組み、努力することや協力することの大切さを学ぶ。

【5】一人ひとりの子どもの個性・発達・特性に応じた指導を行う。

- (1) 子どもの興味や関心、個性の違いをふまえて一人ひとりに応じた指導を行う。
- (2) 子どもの成長や発達、特性の違いをふまえて一人ひとりに応じた支援を行う。

【6】保護者・地域と連携した教育活動を実施する。

- (1) 保護者の要望をふまえ、保護者と連携してともに子どもを育てる。
- (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施する。

【7】教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実をはかる。

- (1) 園内研修を充実させ教職員の資質の向上をはかる。
- (2) 教職員の協力・連携を強化し教育力の向上と教育内容の充実をはかる。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成27年11月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行った 評価方法：各項目について、5段階で評価を行った</p> <p>【心身の健全な成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う (4.0) ・温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育んでいると思う (4.2) ・子どもの成長を通して当園への入園は良かったと思う (4.7) <p>【基本的な習慣とマナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う (3.8) ・学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う (3.8) ・挨拶や整理整頓についての指導ができていると思う (3.8) ・食事に関して正しい習慣が身に付いてきていると思う (3.9) ・きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う (3.8) <p>【安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達への安全確保（セキュリティ）に注意が払われていると思う (4.4) ・子ども達が安心して生活できる環境整備になっていると思う (4.4) ・園からの緊急連絡が速やかに伝わるよう工夫された体制が整っていると思う (4.5) <p>【積極性や協力する態度を養う教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容は充実していると思う (4.3) ・子ども達に心の力が目標通り育まれていると思う (4.1) ・子ども達に学ぶ力が目標通り育まれていると思う (4.2) ・子ども達に体の力が目標通り育まれていると思う (4.4) ・園に行くことを楽しみにして喜んで行事にも参加していると思う (4.5) <p>【子どもの個性・特性に応じた指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は先生に親しみ信頼関係はよいと思う (4.4) ・個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援ができていると思う (4.1) ・子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっていると思う (4.5) ・課外教室は豊富で選びやすく満足していると思う (4.4) <p>【保護者・地域と連携した教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を築く努力をしていると思う (4.3) ・保護者から相談を受けることが多いと思う (3.6) ・保護者の相談などに対して誠実に対応し連携を図っていると思う (4.4) ・預かり保育は利用しやすく安心して預けることができると思う (4.2) <p>【教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや目標に向かって日々研究し努力していると思う (4.2) ・自分の目標は現時点で達成に近づいていると思う (3.6) ・子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取り組んでいると思う (4.1) <p>[分析]</p> <p>○教職員は、本園の教育目標を理解し本年度の教育目標・重点目標を踏まえて、日々研究を重ね熱心に丁寧な指導している。また、計画・カリキュラムに沿って実施され概ね達成されている。</p> <p>○教職員は、日々同学年また学年を越えた熱心な意見交換や話し合いの場をもち、園内研修会・外部研修会の成果などを踏まえて、より良い教育を目指して指導計画を立案し実践することができた。</p> <p>○教職員が子ども達の健やかな成長を願い熱心に細やかに取り組んでいることに、保護者は理解しほぼ満足していると思われる。子ども達の個性や特性を踏まえた保育全般の丁寧な教育に対して評価は4.1になった。</p> <p>○子ども達は様々な活動・体験を通して喜んで楽しく園生活を送り、基本的な生活習慣や集団生活をする中で重要なマナーを身につけ、仲間と協力しながら、主体的に活動する力を養っている。また、友だちに対する思いやりや助け合うことの大切さも学んでいる。しかしながら全般のマナーについてはやや低い評価となっているので、幼児期における生活習慣やマナーについて家庭においても気をつけて育まれるように保護者の理解支援連携が大切かと思う。</p> <p>○幼児期に必要な集団生活のきまりを理解して、友だちと一緒に生活する中で、人間関係が良好になるように指導を行ってきた。また、お手伝いを通して責任感を持ち達成感を味わい感謝の気持ちも少しずつ芽生えた。</p> <p>○体力向上と柔軟力・運動技能を高めることを目的に、日々の体操・かけっこ・戸外遊びを大切にしている。新園舎完成後は、園庭・室内と大変整った環境で、子ども達は意欲を持ち友だち同士意識を高め合い積極的な活動になるよう取り組んでいる。</p> <p>○保護者は門の出入り口のセキュリティが十分でないとして多少の不安をもっている方もいるが適宜な対策にほぼ満足されている。今後も安全強化に努め保護者証の提示を強化する中で手間などの理由で不満が募ることのないよう保護者に理解と協力が得られるよう役員会やクラス会などを通して対応していく。</p> <p>○特別支援教育について、教職員同士や保護者との連携を密にして、さらに専門職の先生のアドバイスも双方が受けて保護者と円満な理解を図っていく必要性を今後も大切にしていきたいと思う。担任と保育補助の密な連絡と保護者との連携によってより良い保育を実施し、クラス運営も円滑に進めることができた。</p> <p>○教職員は、全員が日々の話し合い（報告・連絡・相談）や研修会の報告などを共有し、保育全般に対する知識・技能を一層高めるとともに、教職員相互の協力・連携のもとにより良い保育を実践していく努力を重ねていきたい。</p> <p>○内外の研修会に参加し園内研修を充実させることにより、教職員は自らの指導を振り返り、さらに指導の改善や資質の向上を図っていききたい。</p> <p>○教職員相互の協力・連携を深め合い、保育現場での反省を活かした保育を目指し全員で一層の教育力向上と教育内容の充実を図る必要がある。</p>	<p>○学校協議会は、全体として幼稚園の教育内容に対してほぼ良好だと評価している。</p> <p>○保護者の相談や悩みなどに対して、教職員は概ね丁寧に親切に対応している。担任以外の教職員も適切に対応している。しかし、経験が浅い教職員の対応は時として不安なこともあったので指導を適宜していく必要があると思う。</p> <p>○保護者は教職員に対して概ね信頼を寄せている。個人差の開きがあるので、信頼をさらに強化するためには教育目標や実践、その成果を細やかに保護者に伝えていくことが大切である。</p> <p>○子ども達一人ひとりの個性を尊重した上で、保護者との連絡を図りながら、子ども達それぞれの発達を踏まえた保育を実践していることは評価される。</p> <p>○新園舎の環境は大変良く、戸外や室内も広々としているので、子ども達は思う存分のびのびと元気に体を動かし活動していることは大変評価できる。</p> <p>○子ども達の基本的な生活習慣やマナーは園生活を通して少しずつ身に付いてきている。しかしながら、公共機関の利用時に伴うマナーは時として問題になっているので、保護者への啓発は強くお願いしたい。</p> <p>○集団生活のきまりを守っていくことについて、保護者にも理解と協力を求める必要がある。手紙による啓発や保護者集会などの折にしっかりと話をお願いしたい。</p> <p>○保育内容について十分評価できる。しかし、運動会や発表会など成果の見せ方によっては保育内容の低下と感じる保護者もいるので、全教職員が保護者に理解を得られるようしっかりと現場でも保育内容を伝えていく必要性を強く思う。</p> <p>○広い園庭で、夏の遊び（どろんこ遊び）など十分確保でき従来通りできるようになって良かったと思う。</p> <p>○安全面での正門の出入り口について安心できるような対策を保護者の協力と理解で今後も一層の対策をお願いしたい。</p> <p>○課外教室の受講について、預かり保育参加の有無の違いで保護者の思いが分かれると思う。しかし、数多くの課外教室が整い良いと思う。</p> <p>○預かり保育は、子ども達にとって安心で過ごしやすいたことが条件であると思う。また、時間的なことにおいても保護者の思いをほぼ満たしているので評価している。</p> <p>○子ども達の気持ちに寄り添い、教職員は丁寧に取り組んでいる支援教育について今後も期待している。</p> <p>○研修会の内外の参加など含め、教職員同士で教育力向上に努めていることは今後も継続してほしい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 心身の健全な成長・豊かな人間形成の基礎	<p>(1) 健康で活発な子ども</p> <p>(2) 自ら考えて行動する子ども</p> <p>(3) 思いやりと優しさのある子ども</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども ア、健康な体をつくるために、かけっこ・体操・自由遊びを通してしっかりと運動能力を養うように取り組む。 イ、友だちの姿から刺激を受けて、自分で考えて自分でやろうとする気持ちを培う。</p> <p>(2) 考えて行動する ア、基本的な習慣を時間の流れに応じて考えて行動する。 イ、場面に応じて次は何をするかを考えて行動する。</p> <p>(3) 思いやりと優しさを育てる ア、困っている友だちがいれば一緒に考えたり行動したりできる。 イ、みんなで活動する時に場面に応じてお手伝いをする。</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども (4.0) ア、①かけっこで体力が向上する。 ②柔軟体操の4つの基本ができる。 ③色々な遊びの中でも十分に体を動かす。 イ、①学年目標が達成できる。(4.0) ②積極的に自ら取組むようになる。 (2) 考えて行動する (4.0) ア、挨拶、衣服の着脱、うがい・手洗いなどが自分で考えてできる。 イ、次は何をするか自分で考えて行動できる。 (3) 思いやりと優しさを育てる (4.0) ア、体操や学習、また生活面で困っている子に教えることができる。 イ、生活や活動を通して、気がついて進んでお手伝いができる。</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども(4.4) ア、ほぼ全員の子どもが身体を動かす事、運動することが好きで、積極的に遊びにも取入れかけっこを行っている。柔軟体操も4つの基本動作がほとんどの子どもができるようになった。 イ、学年目標の動作がほぼ全員できるようになった。まわりにいる友だちを意識できるようになり、自分もできるようになると励んでいる。(4.1) (2) 考えて行動する(4.2) ア、年少児も生活リズムに慣れて基本的な習慣や動作ができるようになってきた。(3.8) イ、学年や個々によっては、次の動作を考えて動くことはまだ指示がないと難しいことがある。 (3) 思いやりと優しさを育てる(4.1) ア、自ら気がついて自然と優しく教えられる場面が増えてきた。 イ、周りを見て手伝う姿が見られるようになった。</p>
2 基本的な習慣とマナー	<p>(1) 基本的な生活習慣と態度を身につける。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度と行動を身につける。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立 ア、挨拶をする。靴を揃える。 イ、手洗い・うがい・歯磨きの習慣を身につける。 ウ、上手に箸を使う、食器の片づけをする。 エ、食後・制作後の後片づけをする。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度を養う。 ア、整理整頓ができる。 イ、進んでお手伝いをする。 ウ、公共の場での望ましいマナーを身につける。 エ、ありがとうやごめんなさいの気持ちを持つ。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣 (4.0) ア、挨拶をする。靴を揃える。(4.0) イ、手洗い・うがい・歯磨きが習慣的に自らできる。(4.0) ウ、正しく箸を持って食事する。(4.0) エ、片づけや掃除ができる。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度や行動ができる。(4.0) ア、自分の身の回りの整理整頓や後始末ができる。(4.0) イ、気がついて積極的に手伝いをする。 ウ、待合場所や車内では私語を慎み行儀よくする。(4.0) エ、素直な気持ちでありがとうやごめんなさいが言える。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣 (3.8と昨年同様未達成) ア、挨拶・靴を揃える指導が目標達成に届いていない。しっかりと見本となる姿を見せ指導していく。(3.8) イ、歯磨きは全員できるようになった。(4.2) ウ、食育の生活習慣の定着は家庭と連絡を密にして協力をお願いしていく。(3.9) エ、片づけ等少しずつ自らできるようになった。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度や行動ができる(3.8) ア、自分の身の回りの整理整頓がほぼできるようになった。(3.8) イ、感謝されると進んでお手伝いをしようという気持ちがさらに高まってきた。(4.1) ウ、車内では行儀や私語などの態度を今後もしっかりと指導をしていきたい。(4.1) エ、ありがとうはほぼ言えるが、ごめんなさいは素直に言えないことがある。</p>
3 安心・安全な教育環境の整備と子どもの主体的な活動	<p>(1) 楽しく生活し、興味・関心を広げる環境を整備する。</p> <p>(2) 自然や社会に触れることができる環境を整備する。</p> <p>(3) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保する。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備の充実 ア、保育室の図書設備の充実を図る。 イ、季節に応じた制作をする。 ウ、体操や音楽に係る整備、備品の充実を図る。</p> <p>(2) 自然・社会環境の整備の充実 ア、生き物を飼育する。 イ、植物や野菜を栽培する。 ウ、園外保育に出かけ、いろいろな人とふれ合う。</p> <p>(3) 安全・防災教育を実施 ア、交通安全教育・防犯教室を実施する。 イ、防災訓練を実施する。 ウ、JR出張授業を実施する。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備 (4.0) ア、絵本を豊富に揃える。 イ、絵画や制作をする中で季節を感じ、表現することを楽しむ。 ウ、安全についての構えを身につけ、自分の体を大切にしながら積極的に運動や楽器を扱うことができる。 (2) 自然・社会環境の整備 (4.0) ア、生き物の飼育を通して命を大切に イ、自然物に関心を持ち、また、野菜の生長を楽しむ。 ウ、園外保育に参加する。 (3) 安全・防災教育 (4.0) ア、交通ルールを知り守る。また、防犯について知る。 イ、避難の仕方を知り、身の安全を図り速やかに行動できる。 ウ、電車のきまりやマナーを知る。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備(4.1) ア、十分な絵本を揃えることによって子ども達が進んで好きな内容を選び、絵本を読む事を楽しんでいる。 イ、季節感のある制作をし、また、展示することによって季節感を味わうことができた。 ウ、備品を整備することによって、意欲的に安全に活動ができるようになった。 (2) 自然・社会環境(3.2) ア、ザリガニ・金魚・カブトムシ等を飼育して世話をすることができた。しかし、年間を通して、生き物を飼育することにクラスのばらつきがあった。 イ、きゅうり・なすび・トマト・さつまいもを育て観察し、屋上菜園の野菜の生長を楽しんだ。 ウ、芋ほり・みかん狩りを実施し、農家の方にもお世話になった。 (3) 安全・防災教育(4.4) ア、警察の方から交通安全教育と防犯教育について指導を受けた。 イ、火災の避難訓練(消防署指導)・地震訓練など防災教育を行った。 ウ、JRの方から乗車マナーと安全面の指導を受けた。また、正門での安全対策や保護者証提示など引き続き強化していく。</p>

<p>4 自主性や協力的態度、規範意識のめばえ</p>	<p>(1) 身体を動かし、積極的に運動する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。</p> <p>(3) 行事・活動に取り組み、仲間と協力すること、また集団活動のルールを理解する。</p>	<p>(1) 積極的に運動 ア、かけっこを毎日取り入れる。 イ、柔軟体操の4つの基本ができる。 ウ、体操のいろいろな種目に挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する ア、ひらがな、カタカナを覚え書く。 イ、絵本を読み話の内容を理解する。 ウ、数字を覚えて簡単な計算ができるようにする。 エ、歌やピアノを通して音階や楽譜を理解する。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること ア、すすんで行事に参加する。 イ、子ども同士の交流の場を設け異年齢の交流を図る。 ウ、学年目標を設定し、成長段階に応じた目標で達成をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動(4.0) ア、かけっこやリレーで競争する楽しさを知る。 イ、基本の柔軟体操が全員出来る。 ウ、ブリッジ歩き・壁逆立ち、側転・三転倒立、跳び箱(3学期)・逆立ち歩き等、学年目標に挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。(4.2) ア、50音表を使って字を覚える。また、簡単な作文が書ける。 イ、絵本の話や感想が言える。 ウ、足し算引き算ができる。 エ、みんなと一緒にピアノの合奏ができる。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること(4.0) ア、喜んで行事に参加する。 イ、いきいきランチやクラス交流会を実施する。 ウ、学年目標の達成度(4.1)をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動(4.4) ア、勝ったり負けたりしながら、早く走りたいと意欲が高まり頑張っている。 イ、目標通りに基本の柔軟体操が確実にできている。 ウ、各学年目標を目指し、ほぼできてきている。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する(3.9) ア、学年の目標通り書く事ができている。 イ、年長児では絵本の内容やあらすじを話すことができる。 ウ、活動や遊びを通して文字・数字を理解し、トレーニング帳を使って学んでいる。年中では足し算引き算、年長では数名九九もできている。 エ、ピアノを通して音階も理解し、簡単な演奏もできるようになった。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること(3.8) ア、季節や保育活動に合わせた行事を実施している。ざりガニ釣り・運動会・園外保育・発表会など、積極的に喜んで参加している。また、活動を通して協力すること、仲間を大切にすること、ルールを守ることができた。 イ、クラス交流の場となり、子ども同士触れ合い助け合いの観点から良い学びの機会となった。 ウ、学年目標はほぼ達成できている。個別にはもう少し努力が必要と評価しているところもある。特に躰面において共有していく必要がある。(3.8)</p>
<p>5 子どもの個性・特性に応じた指導</p>	<p>(1) 子どもの興味・理解・個性の違いに応じた指導</p> <p>(2) 子どもの成長・発達・特性の違いに応じた支援</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導 ア、子どもの興味・関心、理解・成長の度合いに応じた指導を行う。 イ、子どもの心の状態を把握して適切な指導を行うことができるよう研修を行う。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援 ア、保護者とも連携を図り、その子の発達・特性に応じた支援を行う。 イ、周囲の子ども達にも理解できる範囲で協力を促し、相互のかかわりが良好になるよう配慮し共感し合う。 ウ、保護者の理解と協力も得られるよう保護者に対する啓発活動にも取り組んでいく。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.0) ア、活動の場面ごとに個々の子どもの成長に見合った指導を行う。 イ、終礼・園内研修会・外部研修会・ステップアップ会議等の話し合いを通して研修を行う。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.0) ア、保護者と連絡を密にし、その子の発達・特性に応じた支援をする。 イ、子ども達の相互のかかわりが良好になるよう配慮し共感し合う。 ウ、保護者に対する啓発活動を行う。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.5) ア、個々の感情を丁寧に受け止めた対応・指導を行なった。また、トラブルがあった時は、互いの気持ちが整理できるよう仲裁し、子ども同士で解決できるよう促した。 イ、研修は有意義に実施され、意見交換や新しい情報を伝え把握し、子ども達の成長に合わせて指導できた。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.1) ア、保護者と連絡・連携を取り、個々の発達。状況に応じた支援を実施することができた。 イ、課題を持つ子どもに対して周りの子ども達が可能な範囲で協力し、互いに援助しその中で良好な関係をつくることができた。 ウ、課題をもつ子どもとともに周りの子ども達も成長していくことを保護者も理解され協力も得られるようになったと感じている。</p>
<p>6 保護者・地域と連携した教育活動</p>	<p>(1) 保護者と連携し子どもを育てる。</p> <p>(2) 地域と連携して教育活動を行う。</p>	<p>(1) 保護者との連携 ア、PTA活動を活発にし、運動会・発表会などで保護者と連携し協力をお願いする。 イ、家族皆が参加できる保育参観を実施し、積極的な参加を促す。</p> <p>(2) 地域との連携 ア、園庭を開放し、夏まつりや運動会などの行事にも地域の人を招待する。 イ、府内中学校の職業体験の受入れに協力する。 ウ、エコキャップ運動の推進を図り継続していく。</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.0) ア、役員会を通してPTA活動を活発にし、協力をお願いをする。 イ、家族皆が参加できる保育参観の参加は主旨の理解を得る。</p> <p>(2) 地域との連携(4.0) ア、園行事の開催など、ポスターの掲示や手紙で知らせ招待する。 イ、職業体験の受入れをする。 ウ、エコキャップ運動を行う。</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.3) ア、PTA活動は、役員会・バザーの手作り会・おやじの会など保護者の活動が活発になり、園に対して理解と支援協力体制の姿勢が高まってきている。 イ、家族の方にも園の教育方針や教育内容について理解が深まり、子どもとのかかわりが多くなったように思われる。(4.3)</p> <p>(2) 地域との連携(4.0) ア、園庭開放・見学会・バザーなど一般の方も含め少しずつであるが入園対象年齢児の方の参加が増えた。 イ、地域の中学生を受け入れ楽しく過ごす事ができ支援につながった。 ウ、エコキャップ収集の推進から子ども達は資源を大切に、環境を守ることの大切さも学ぶことができた。</p>
<p>7 研修の充実・運営体制の充実</p>	<p>(1) 研修を充実させ資質の向上をはかる。</p> <p>(2) 教職員の協力・連携を強化し教育力と教育内容の充実をはかる。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、園内研修を実施して資質の向上を図る イ、各自の目標を設定し努力する</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、目標を共有して連携する イ、教育内容を充実させる</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、努力の成果を4.0以上に イ、目標達成度を4.0以上に</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、連携の充実度を4.0以上に イ、教育内容の充実度を4.0以上に</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上(4.2) ア、努力の成果は4.2と目標を達成できた。 イ、目標達成度は3.6と低くさらに個人の努力強化が必要である。</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実(4.3) ア、連携の成果が4.3と目標を達成できた。 イ、内容の充実度は、学ぶ力(4.2) 体の力(4.4) 心の力(4.1) とばらつきなどみられるがほぼ目標を達成できた。</p>